

注3

大学番号：私114

[平成29年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

届出

武蔵野音楽大学 音楽学部 演奏学科
武蔵野音楽大学 音楽学部 音楽総合学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 武蔵野音楽学園
平成29年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人武蔵野音楽学園

(2) 大 学 名

武蔵野音楽大学

(3) 大学の位置

〒176-8521
東京都練馬区羽沢1丁目13番1号

〒358-8521
埼玉県入間市中神728番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (平成10年2月)		
学 長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (昭和56年10月)		
学 部 長			
学 科 長		(タシロ シンノスケ) 田代 慎之介 (平成29年4月)	平成29年4月1日就任(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 演奏学科 学士(音楽)	音楽関係	4年	270人	— 年次人	1,080人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	270 (—) [0]								0.87倍	
志願者数	300 (—) [0]	(—) [—]								
受験者数	297 (—) [0]	(—) [—]								
合格者数	262 (—) [0]	(—) [—]								
B 入学者数	235 (—) [0]	(—) [—]								
入学定員超過率 B/A	0.87									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	235 [0] (一)	[-] (一)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	235 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		%
合 計	235 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積積 定時の差異(29)			
	校 舎 敷 地	371,328㎡ 371,329㎡	0㎡	0㎡	371,328㎡ 371,329㎡				
	運動場用地	26,250㎡	0㎡	0㎡	26,250㎡				
	小 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積積 定時の差異(29)			
		45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ 45,736㎡	0㎡	0㎡	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ 45,736㎡				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		45室	4室	295室	6室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		大学全体		
		音楽学部 演奏学科			190 室				
(5)図書・設備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能な ため、大学全体の数 開設時予定数値と5月1日 現在の数値の差異(29)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	音楽学部 演奏学科	228,546 [118,060] (226,526 [116,669]) (224,546 [115,980])	912 [300] (912 [300])	0 [0] (0 [0])	75993 (75,826) (75,593)	0 (0)	0 (0)		
計	228,546 [118,060] (226,526 [116,669]) (224,546 [115,980])	912 [300] (912 [300])	0 [0] (0 [0])	75993 (75,826) (75,593)	0 (0)	0 (0)			
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
		3,190㎡ 3,255㎡		217		420,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,077㎡		テニスコート6面					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	ヴィルトゥオーゾコースについ ては各年次80千円増しとなる
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	10,800千円	10,800千円	10,800千円	
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	56,600千円	56,600千円	56,600千円	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		2,200千円	2,100千円	2,100千円	2,100千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	武蔵野音楽大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽学部	年	人	年次 人	人		倍			
演奏学科	4	270	—	270	学士(音楽)	0.87	平成29年度	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号 埼玉県入間市中神 728番地	平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止
音楽総合学科	4	40	—	40	学士(音楽)	0.82	平成29年度		
器楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
声楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
作曲学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
音楽学学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和40年度		
音楽教育学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和40年度		
ヴィルトゥオーソ学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	平成18年度		
音楽環境運営学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	平成19年度		
音楽研究科修士課程								東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	
器楽専攻	2	29	—	58	修士(音楽)	1.20	昭和39年度		
声楽専攻	2	20	—	40	修士(音楽)	0.72	昭和39年度		
作曲専攻	2	2	—	4	修士(音楽)	0.75	昭和39年度		
音楽学専攻	2	4	—	8	修士(音楽学)	0.50	昭和44年度		
音楽教育専攻	2	10	—	20	修士(音楽)	0.40	昭和44年度		
音楽研究科博士後期課程								東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	
音楽専攻	3	10	—	30	博士(音楽) 博士(音楽学)	0.20	平成16年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(演奏学科)	留意事項	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員7名のうち1名は平成28年度退職に伴い、若手専任教員を採用した。その他6名の内2名については平成29年度をもって退職予定、他の4名の内2名は、授業科目の担任上の必要により平成30年度の退職を予定とし、他の2名については担当科目の特殊性により退職時期を数年延長し逐次年齢構成の改善を図る。(29)	定年年齢を超える専任教員については、本人の業績、経歴等、音楽教育上の特性を踏まえた上で計画的に退職時期を定め、年齢構成の改善を図り適切な運用に努める予定である。完成年度までに退職者が出た場合は教育研究業績、経歴、社会的活動等に優れた就業規則に適合する比較若い演奏家、研究者等から採用を行なう予定である。(29)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<音楽学部 演奏学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 教育課程等の概要 1 時限の授業時間 100分	① 大学設置基準の「各授業科目の授業期間」を確保するため、これまでも入学式の期日を早め、ガイダンスの期間や試験期間の短縮、ハッピーマンデー(祝日)に月曜日の授業を実施するなどして取り組んできた。さらに、曜日ごとの授業回数を同じ回数にするため、このたび1日の授業時限数を4時限から5時限へ増やすこととした。しかしながら1時限を100分で授業を実施した場合、5時限目が18時50分に終了することになる。音楽大学である本学の学生は、課外において十分な練習時間を確保する必要があること、また、専門分野の研究の一部として、18時30分や19時から始まる演奏会を聴く場合も考慮すると、1時限の授業時間を100分ではなく90分に変更しなければ5時限の確保が困難であった。また、他大学でも90%を超える大学が1時限を90分で授業を実施していること等を考慮し、本学でも1時限の授業時間を90分とすることとした。
② 管理運営(教授会以外に関連する委員会) 部会 部会は、本学の学科・科目等に関する必要な事項を審議し、円滑な運営を図るために定めている「武蔵野音楽大学部会規則」に基づき、学科・科目等の区分で、専任・兼任を問わず全教員によって構成される。部会は年数回の会議を開催し、その中で各学科・科目特有の指導法等の課題、授業進度の調整、教材、試験、授業の評価、各種演奏会等に関するものをそれぞれの部会の計画に従って討議・検討する。審議し、決定した事項は、関連する委員会に提議する。なお、13の部会は以下のとおりである。 (1)有鍵楽器部会 (2)管楽器部会 (3)打楽器部会 (4)弦楽器部会 (5)声楽学科部会 (6)作曲学科部会 (7)音楽学学科部会 (8)音楽教育学科部会 (9)ヴィルトゥオーソ学科部会 (10)音楽環境運営学科部会 (11)ソルフェージュ部会 (12)共通教育部会 (13)指揮部会	② 学科の再編・統合に伴い、武蔵野音楽大学部会規則を改訂し、本学の教育に関する必要な事項を審議し、円滑な管理運営を図るために、以下の13の部会を置く。 (1) 有鍵楽器部会 (2) 管楽器部会 (3) 打楽器部会 (4) 弦楽器部会 (5) 声楽部会 (6) ヴィルトゥオーソ部会 (7) 作曲部会 (8) 音楽学部会 (9) 音楽教育部会 (10) アートマネジメント部会 (11) ソルフェージュ部会 (12) 指揮部会 (13) 共通教育(教養・外国語・体育)部会 部会は、専任・兼任を問わず全教員によって構成され、上記(1)～(6)の部会は演奏学科に、(7)～(10)の部会は音楽総合学科に、(11)～(13)の部会は、各科目等を担当する教員で組織する。
③ 武蔵野音楽大学3つのポリシー	③ 「三つの方針」に関する学校教育法施行規則の改正に伴うガイドラインに沿って、本学の3つのポリシーを見直す必要が生じたことから、以下のとおり一部変

更した(下線部分が主要な変更点)。

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

武蔵野音楽大学音楽学部(学士課程)の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士(音楽)の学位を授与します。

- 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力(演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力)を身につけている者。
- 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。
- 3 自ら考え、創造する力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。

○教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全2学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に適うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。

- 1 授業科目は原則として4学年を8つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成する。この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とする。
- 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませる。また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行う。
- 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入する。また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行う。
- 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ3年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設ける。

○入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

武蔵野音楽大学の建学の精神「〈和〉のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備え

	た者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学試験によって選抜します。 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 「武蔵野音楽大学FD実施規程」（平成20年4月1日）を制定し、この規程に基づき、全学的な組織として学長を委員長とする「FD委員会」を設置した。 （「武蔵野音楽大学FD実施規程」を添付） b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD委員会は、年1～2回開催し、委員の欠席はほとんどなく出席状況は良好である。 平成29年度は、6月9日に開催を予定している。 c 委員会の審議事項等 ・ 各部会において前年度に計画したFDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について ・ 各部会の当該年度のFD実施計画について ・ 各部会において授業内容・方法の改善・向上のため創意工夫した事例について ・ 学生による授業評価アンケートについて ・ シラバスの作成要領について ② 実施状況 a 実施内容 ・ 教員相互の授業・レッスン参観 ・ FD講座の開催 ・ 新設科目等の授業内容検討会 ・ コーチング・スキル講習会 ・ アクティブラーニング研究 ・ 教材研究 ・ 共通教材（外国語科目）の作成・改訂 ・ 学生による授業評価アンケート ・ 客員教授（海外の著名な音楽家を招聘）が行うレッスンを聴講 b 実施方法 専門教育、共通基礎専門教育、共通教育に教員の組織として、有鍵楽器部会、管楽器部会、打楽器部会、弦楽器部会、声楽部会、ヴィルトゥオーゾ部会、作曲部会、音楽学部会、音楽教育部会、アートマネジメント部会、ソルフェージュ部会、指揮部会、共通教育部会を置き、各部会はそれぞれの教育内容・授業形態等の特性に応じたFD活動に取り組んでいる。部会での討議のほか、次のような方法で実施している。 ・ 授業・レッスン公開（教員相互の授業・レッスン参観） レッスンの参観については、3名の教員が一組となり、それぞれが担任する学生のレッスンを、相互に参観し、意見交換、研究会を行う。 ・ FD講座 教員が持ち回りで講師となり、それぞれの専門に係るテーマについて、講話・実技により行う。	
---	--

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・教員相互の授業・レッスン参観については、各組とも年1回以上実施する。
 - ・FD講座は、前期・後期各1回以上実施する。
 - ・その他については、各部会ともFDを目的とした部会を年2回以上開催し、討議・研究を実施している。
 - ・各部会所属教員（専任・非常勤）は、それぞれのFD活動に積極的に参加している。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・教員相互の授業・レッスン参観後には、意見交換を行うとともにレポートを作成し、全教員が閲覧できるようにしており、その後の授業・レッスンの改善・向上に役立てている。
 - ・FD講座は多様なテーマで実施され、参加した教員はその内容に刺激を受けて、今後の指導法の参考としている。
 - ・学生による授業評価アンケートの集計結果を各授業（レッスン）担当教員に通知し、「評価に対する所見」及び「今後の授業（レッスン）に具体的に反映すべき事項」について提出させ、授業・レッスンの改善・向上につなげている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

隔年で実施し、「専攻実技（レッスン）」と「クラス授業」に区分して交互に実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、「学生による授業評価アンケート実施報告書」として刊行し、教員のほか文部科学省をはじめ関係機関に配付するとともに、学生が閲覧できるよう図書館に備え付けている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ベートーヴェンホール以外の建物を一新した、都心型の江古田新キャンパスが完成し、かつ学科の再編・統合と、これに伴う新カリキュラムのスタートにより、学部の入学者は、前年度より大幅に増加した。しかしながら、入学定員を満たしていないことから、引き続き学生確保に向けた取り組みを組織的に行う。また、専任教員の構成において、退職年齢を超える教員数の割合が高いが、これは、音楽大学の特性として、やむを得ない側面もあるが、厳格な定年規程の運用と、若手教員の採用など、年齢構成の改善に努めると共に、設置の趣旨に沿った教育研究の維持向上を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開予定（平成30年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 一有— ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 平成29年12月末を予定 ）

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人武蔵野音楽学園

(2) 大 学 名

武蔵野音楽大学

(3) 大学の位置

〒176-8521
東京都練馬区羽沢1丁目13番1号

〒358-8521
埼玉県入間市中神728番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (平成10年2月)		
学 長	(フクイ ナオタカ) 福井 直敬 (昭和56年10月)		
学 部 長			
学 科 長		(ナカガワ トシヒロ) 中川 俊宏 (平成29年4月)	平成29年4月1日就任(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
音楽学部 音楽総合学科 学士(音楽)	音楽関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (—) [2]								0.82倍	
志願者数	43 (—) [2]	(—) [—]								
受験者数	42 (—) [2]	(—) [—]								
合格者数	42 (—) [2]	(—) [—]								
B 入学者数	33 (—) [1]	(—) [—]								
入学定員超過率 B/A	0.82									

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	33 [1] (一)	[-] (一)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次					/		[] ()	[] ()	
計							[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	33 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
			平成32年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
			平成32年度	人	人		
平成32年度 入学者	人	人	平成32年度	人	人		%
合 計	33 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合（％）を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○入）」というように、その人数も含めて記入してください。
- （記入項目例）・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
	校 舎 敷 地	371,328㎡ 371,329㎡	0㎡	0㎡	371,328㎡ 371,329㎡			
	運動場用地	26,250㎡	0㎡	0㎡	26,250㎡			
	小 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	397,578㎡ 397,579㎡	0㎡	0㎡	397,578㎡ 397,579㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	新校舎完成に伴う面積確定時の差異(29)		
		45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ 45,736㎡	0㎡	0㎡	45,210㎡ 45,726㎡ 45,210㎡ 45,736㎡			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		45室	4室	295室	6室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		大学全体	
		音楽学部 音楽総合学科			190 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不能なため、大学全体の数
	音楽学部 音楽総合学科	228,546〔118,060〕 (226,526〔116,669〕) (224,546〔115,980〕)	912〔300〕 (912〔300〕)		0〔0〕 (0〔0〕) (75,593)	75993 (75,826) (0)	0 (0)	
	計	228,546〔118,060〕 (226,526〔116,669〕) (224,546〔115,980〕)	912〔300〕 (912〔300〕)		0〔0〕 (0〔0〕) (75,593)	75993 (75,826) (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体
		3,190㎡ 3,255㎡		217		420,000		
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体
		1,077㎡		テニスコート6面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	320千円	320千円	図書購入費	3,200千円	3,200千円	3,200千円
	学生1人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	8,400千円	8,400千円	8,400千円
		第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		2,170千円	2,070千円	2,070千円	2,070千円	一千円	一千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	武蔵野音楽大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
音楽学部	年	人	年次 人	人		倍			
演奏学科	4	270	—	270	学士(音楽)	0.87	平成29年度	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号 埼玉県入間市中神 728番地	平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止 平成29年より学生 募集停止
音楽総合学科	4	40	—	40	学士(音楽)	0.82	平成29年度		
器楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
声楽学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
作曲学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和24年度		
音楽学学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和40年度		
音楽教育学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	昭和40年度		
ヴィルトゥオーソ学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	平成18年度		
音楽環境運営学科	4	—	—	—	学士(音楽)	—	平成19年度		
音楽研究科修士課程									
器楽専攻	2	29	—	58	修士(音楽)	1.20	昭和39年度	東京都練馬区羽沢 1丁目13番1号	
声楽専攻	2	20	—	40	修士(音楽)	0.72	昭和39年度		
作曲専攻	2	2	—	4	修士(音楽)	0.75	昭和39年度		
音楽学専攻	2	4	—	8	修士(音楽学)	0.50	昭和44年度		
音楽教育専攻	2	10	—	20	修士(音楽)	0.40	昭和44年度		
音楽研究科博士後期課程									
音楽専攻	3	10	—	30	博士(音楽) 博士(音楽学)	0.20	平成16年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。(音楽総合学科)	留意事項	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員2名は、授業科目の特殊性により、退職時期を数年延長し、逐次年齢構成の改善を図る。 (29)	定年年齢を超える専任教員については、本人の業績、経歴等、音楽教育上の特性を踏まえた上で計画的に退職時期を定め、年齢構成の改善を図り適切な運用に努める予定である。完成年度までに退職者が出た場合は教育研究業績、経歴、社会的活動等に優れた就業規則に適合する比較若い演奏家、研究者等から採用を行なう予定である。(29)

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<音楽学部 音楽総合学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 教育課程等の概要 1 時限の授業時間 100分	① 大学設置基準の「各授業科目の授業期間」を確保するため、これまでも入学式の期日を早め、ガイダンスの期間や試験期間の短縮、ハッピーマンデー(祝日)に月曜日の授業を実施するなどして取り組んできた。さらに、曜日ごとの授業回数を同じ回数にするため、このたび1日の授業時限数を4時限から5時限へ増やすこととした。しかしながら1時限を100分で授業を実施した場合、5時限目が18時50分に終了することになる。音楽大学である本学の学生は、課外において十分な練習時間を確保する必要があること、また、専門分野の研究の一部として、18時30分や19時から始まる演奏会を聴く場合も考慮すると、1時限の授業時間を100分ではなく90分に変更しなければ5時限の確保が困難であった。また、他大学でも90%を超える大学が1時限を90分で授業を実施していること等を考慮し、本学でも1時限の授業時間を90分とすることとした。
② 管理運営(教授会以外に関連する委員会) 部会 部会は、本学の学科・科目等に関する必要な事項を審議し、円滑な運営を図るために定めている「武蔵野音楽大学部会規則」に基づき、学科・科目等の区分で、専任・兼任を問わず全教員によって構成される。部会は年数回の会議を開催し、その中で各学科・科目特有の指導法等の課題、授業進捗の調整、教材、試験、授業の評価、各種演奏会等に関するものをそれぞれの部会の計画に従って討議・検討する。審議し、決定した事項は、関連する委員会に提議する。なお、13の部会は以下のとおりである。 (1)有鍵楽器部会 (2)管楽器部会 (3)打楽器部会 (4)弦楽器部会 (5)声楽学科部会 (6)作曲学科部会 (7)音楽学学科部会 (8)音楽教育学科部会 (9)ヴィルトゥオーソ学科部会 (10)音楽環境運営学科部会 (11)ソルフェージュ部会 (12)共通教育部会 (13)指揮部会	② 学科の再編・統合に伴い、武蔵野音楽大学部会規則を改訂し、本学の教育に関する必要な事項を審議し、円滑な管理運営を図るために、以下の13の部会を置く。 (1) 有鍵楽器部会 (2) 管楽器部会 (3) 打楽器部会 (4) 弦楽器部会 (5) 声楽部会 (6) ヴィルトゥオーソ部会 (7) 作曲部会 (8) 音楽学部会 (9) 音楽教育部会 (10) アートマネジメント部会 (11) ソルフェージュ部会 (12) 指揮部会 (13) 共通教育(教養・外国語・体育)部会 部会は、専任・兼任を問わず全教員によって構成され、上記(1)～(6)の部会は演奏学科に、(7)～(10)の部会は音楽総合学科に、(11)～(13)の部会は、各科目等を担当する教員で組織する。
③ 武蔵野音楽大学3つのポリシー	③ 「三つの方針」に関する学校教育法施行規則の改正に伴うガイドラインに沿って、本学の3つのポリシーを見直す必要が生じたことから、以下のとおり一部変

更した(下線部分が主要な変更点)。

○学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

武蔵野音楽大学音楽学部(学士課程)の目的に基づき、4年以上在学して124単位以上を修得し、以下の知識・能力等を身につけたと認められる者に、学士(音楽)の学位を授与します。

- 1 専攻分野における基礎的な知識・能力に加え、専門的な能力(演奏学科では演奏能力、音楽総合学科の作曲コースでは創作能力、音楽学コースでは研究能力、音楽教育コースでは教育能力、アートマネジメントコースではアートマネジメント能力)を身につけている者。
- 2 正課の授業および正課外でのさまざまな学修体験を通して、豊かな人間性と学修に対する継続的な強い意欲を身につけている者。
- 3 自ら考え、創造する力を育成し、予測することが困難な社会の諸課題に対応できる判断力、コミュニケーション能力等を身につけている者。

○教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

武蔵野音楽大学の教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」を具現するため、音楽学部全2学科に、必修科目、選択科目、自由科目を開講し、各コースの教育目的に適うよう、以下のようにカリキュラムを編成します。

- 1 授業科目は原則として4学年を8つに区分したセメスターごとに開講し、各専攻分野に求められる知識、能力等を段階的、体系的に修得できるよう編成する。この際、教養科目は必修科目および自由科目の一部として、全学年を通して履修を可能とする。
- 2 専攻実技科目については、個人レッスンにより技量の向上を図るとともに、さまざまな研究発表・演奏等の機会を設け、実践的な体験を積ませる。また、成績評価は実技試験等の結果を踏まえ、別に定めた評価基準により行う。
- 3 クラス授業科目については、開設科目の特性および到達目標を踏まえたクラス編成による授業を通して、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション等を重視した教育方法を積極的に導入する。また、成績評価は定期試験等の結果を総合的に勘案し、別に定めた評価基準により行う。
- 4 教育的見地から、年次ごとの履修単位の上限を定め、かつ3年次への進級に際しては修得すべき単位を定めた進級基準を設ける。

○入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

武蔵野音楽大学の建学の精神「〈和〉のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備え

	た者を、各コースの専攻別科目、共通科目、面接、調査書等による多面的・総合的な入学試験によって選抜します。 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。
--	---

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「武蔵野音楽大学FD実施規程」（平成20年4月1日）を制定し、この規程に基づき、全学的な組織として学長を委員長とする「FD委員会」を設置した。

（「武蔵野音楽大学FD実施規程」を添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、年1～2回開催し、委員の欠席はほとんどなく出席状況は良好である。
平成29年度は、6月9日に開催を予定している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 各部会において前年度に計画したFDの実施結果と分析（成果、問題点・対策、次年度反映事項等）について
- ・ 各部会の当該年度のFD実施計画について
- ・ 各部会において授業内容・方法の改善・向上のため創意工夫した事例について
- ・ 学生による授業評価アンケートについて
- ・ シラバスの作成要領について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教員相互の授業・レッスン参観
- ・ FD講座の開催
- ・ 新設科目等の授業内容検討会
- ・ コーチング・スキル講習会
- ・ アクティブラーニング研究
- ・ 教材研究
- ・ 共通教材（外国語科目）の作成・改訂
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 客員教授（海外の著名な音楽家を招聘）が行うレッスンを聴講

b 実施方法

専門教育、共通基礎専門教育、共通教育に教員の組織として、有鍵楽器部会、管楽器部会、打楽器部会、弦楽器部会、声楽部会、ヴィルトゥオーゾ部会、作曲部会、音楽学部会、音楽教育部会、アートマネジメント部会、ソルフェージュ部会、指揮部会、共通教育部会を置き、各部会はそれぞれの教育内容・授業形態等の特性に応じたFD活動に取り組んでいる。部会での討議のほか、次のような方法で実施している。

- ・ 授業・レッスン公開（教員相互の授業・レッスン参観）
レッスンの参観については、3名の教員が一組となり、それぞれが担任する学生のレッスンを、相互に参観し、意見交換、研究会を行う。
- ・ FD講座
教員が持ち回りで講師となり、それぞれの専門に係るテーマについて、講話・実技により行う。

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・教員相互の授業・レッスン参観については、各組とも年1回以上実施する。
 - ・FD講座は、前期・後期各1回以上実施する。
 - ・その他については、各部会ともFDを目的とした部会を年2回以上開催し、討議・研究を実施している。
 - ・各部会所属教員（専任・非常勤）は、それぞれのFD活動に積極的に参加している。
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・教員相互の授業・レッスン参観後には、意見交換を行うとともにレポートを作成し、全教員が閲覧できるようにしており、その後の授業・レッスンの改善・向上に役立てている。
 - ・FD講座は多様なテーマで実施され、参加した教員はその内容に刺激を受けて、今後の指導法の参考としている。
 - ・学生による授業評価アンケートの集計結果を各授業（レッスン）担当教員に通知し、「評価に対する所見」及び「今後の授業（レッスン）に具体的に反映すべき事項」について提出させ、授業・レッスンの改善・向上につなげている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

隔年で実施し、「専攻実技（レッスン）」と「クラス授業」に区分して交互に実施している。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、「学生による授業評価アンケート実施報告書」として刊行し、教員のほか文部科学省をはじめ関係機関に配付するとともに、学生が閲覧できるよう図書館に備え付けている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ベートーヴェンホール以外の建物を一新した、都心型の江古田新キャンパスが完成し、かつ学科の再編・統合と、これに伴う新カリキュラムのスタートにより、学部の入学者は、前年度より大幅に増加した。しかしながら、入学定員を満たしていないことから、引き続き学生確保に向けた取り組みを組織的に行う。また、専任教員の構成において、退職年齢を超える教員数の割合が高いが、これは、音楽大学の特性として、やむを得ない側面もあるが、厳格な定年規程の運用と、若手教員の採用など、年齢構成の改善に努めると共に、設置の趣旨に沿った教育研究の維持向上を目指す。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年3月末 公表予定

b 公表方法

・大学ウェブサイト上に公開予定（平成30年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

（ 一有— ・ 無 ）

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（ 平成29年12月末を予定 ）